

(2018年4月時点)	2018年度				2019年度				2020年度		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～3月
<b>主な行事</b>		▼【7月】 6th 調整委員会	▼【12月】 7th 調整委員会	調整委員会 (年2回開催予定)				▼【1月10～22日予定】 1st リレー・冬季大会 (0-サン)		▼東京2020大会 オリ: 7/24～8/9 パラ: 8/25～9/6	
<b>競技関係</b> ・オリンピック大会チケットの関係者向け販売が始まる2018年夏までに、おおまかな競技日程(各競技の実施日)が決定。パラリンピックは2019年初旬に決定予定。 ・2017年6月にオリンピック全種目が決定。パラリンピックについては、2018年中に決定予定。	オリンピック パラリンピック	▼【7月頃】 競技日程決定	▼【10月6～18日】 1st リレー・夏季大会 (ブイアリス)	▼【年末頃】 詳細日程決定	詳細競技計画検討	テストイベント Wave①	Wave②	Wave③	▼【春頃】 DCAS(競技運営のための詳細な進行表)決定		
<b>聖火リレー</b> ・2018年4月オリンピック聖火リレーコンセプトと、全国を丁寧に回る日数設定を公表。 ・今後都道府県と連携し、実行委員会の取組をバックアップ。 ・2019年にはルートやランナー等について公表。		▼【4月】 オリンピック聖火リレーの各県日数公表	東京2020オリンピック 聖火リレーコンセプト <b>Hope Lights Our Way</b> -希望の道を、つなごう-		【2019年中】 トーチ・ルート、ランナーについて公表	テストイベント Wave①	Wave②	Wave③	▼【春頃】 DCAS(競技運営のための詳細な進行表)決定		
<b>入賞メダル</b> ・「みんなのメダルプロジェクト」で集めた小型家電からのリサイクル金属を利用し、入賞メダルを製作。 ・2019年夏頃に最終的なデザインを発表予定。		【継続中】 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト									
<b>ボランティア</b> ・ボランティアの運営について有識者を交え検討中。 ・9月中旬から専用WEBサイトにて募集を開始。 ・今後子供の参画も要検討		▼【6月】 ボランティア募集要項公表	▼【7月下旬】 ボランティア募集キャンペーン開始		【2月～7月】 オリエンテーション実施期間			【10月～2月】 共通研修実施期間			
<b>輸送・警備</b> ・輸送運営計画V1として、選手等の輸送ルート案(都内の高速鉄道)や観客等が公共交通機関を利用する場合の想定駅等を公表。V2に向けて精緻化を図る。 ・今後テレワークの推進等、TDM(交通需要マネジメント)を経済界、政府、東京都と協力し進めていく。 ・大会警備全体のガイドラインの概要を公表(顔認証ICを利用した警備システムを導入予定) ・今後ガイドラインに沿った、会場ごとの自主警備計画を策定する。		▼【4月】 各会場への輸送ルート案等、TDM推進に向けた基本方針案等を公表		輸送連絡調整会議、交通輸送技術検討会等にて引き続き、輸送ルート等を検討・調整					▼【3月】 役割・会場の通知		
		▼【4月】 警備JVの設立発表		▼【12月】 警備ガイドライン完成予定					▼【年末頃】 輸送運営計画V2(バージョン2)を策定		
											▼【大会前】 自主警備計画完成
											GSCC(大会警備本部)の運用開始

※背景の絵は 参加型企画にて 2016金賞受賞 左 千葉県立東金特別支援学校小学部3年 北田 凌大さん 右 広島県立広島特別支援学校中学部2年 内藤 高暉さんの作品





# Road to Tokyo 2020 ～～ みんなで作る2020 ～～



(2018年4月時点)	2018年度				2019年度				2020年度		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～3月
<b>選手村 (晴海地区)</b> ・ 宿泊棟にオリンピック時に1万8千、パラリンピック時に8千のベットを用意。 ・ オリンピックの分村を決定。(セーリング競技…大磯町、自転車競技…伊豆市) ・ 日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～を実施中。											
<b>競技会場 (一般的なスケジュール)</b> ・ 契約締結後、実施設計、仮設オーバーレイ工事を実施。											
<b>マスコット</b> ・ 2018年2月28日、史上初めて1万6千校以上の小学校の投票によりマスコットが決定。 ・ 2018年夏以降、本格稼働。(ネーミング発表、ライセンス商品、等身大マスコット等)											
<b>チケット</b> ・ チケット戦略や価格設定、各種施策等について、有識者を交え検討中。 ・ 2018年にはパートナー向け販売を開始 ・ 2019年春頃には一般向け販売を開始予定。											
<b>参画推進</b> ・ 大会に向けた機運醸成のため、フラッグツアーを実施中。 ・ 2017年、東京五輪音頭2020が制作された。今後、夏祭り等で展開。 ・ 2020年4月からは、「東京2020NIPPON フェスティバル」を全国展開予定。全国での実施を目指し、国、自治体、パートナーと連携したプログラムを制作予定。											

※背景の絵は 参加型企画にて2016金賞受賞 左 笠間市立笠間中学校 2年生 武内 あいのさん 右 横浜市立日吉南小学校5年生 千葉 風羽さん の作品  
 他受賞作品についても、今後の本資料において使用させて頂く予定です。



## 応募にあたって

### 活動期間

大会期間中及び大会期間前後において、10日以上活動を基本とします。競技スケジュール、活動内容、活動場所等によっては、シフト等の都合により10日を下回る場合があります。

※大会期間前は、2020年4月以降を想定しています。

※連続での活動は、5日以内を基本とします。

### 活動時間

休憩・待機時間を含み、1日8時間程度

※競技スケジュール、活動内容、活動場所等により異なる場合があります。

※その他食事時間があります。

### 応募にあたって

次の2つにあてはまる方が応募可能です。

1. 2002年4月1日以前に生まれた方
2. 活動期間中において、日本国籍又は日本に滞在する在留資格を有する方

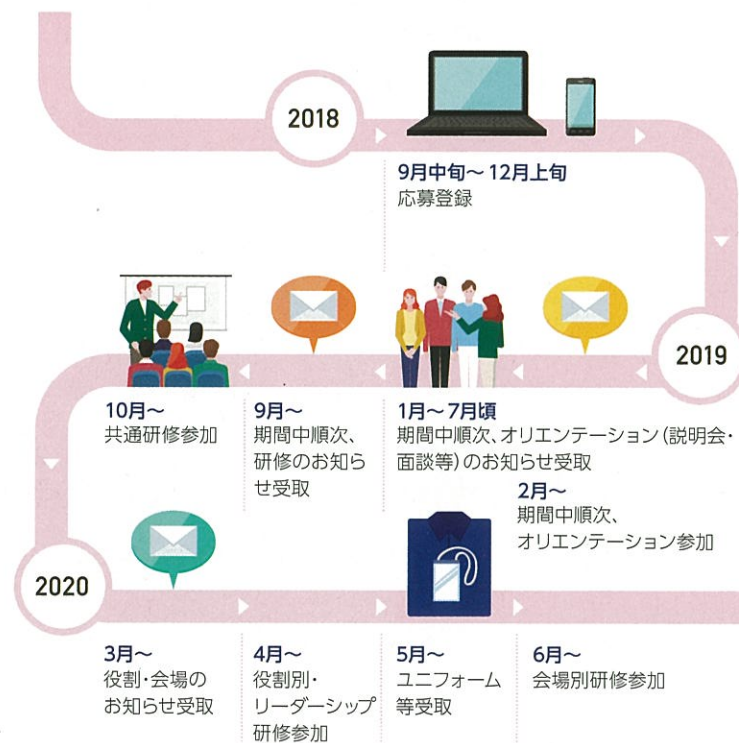
### 積極的に応募していただきたい方

- 東京2020大会の大会ボランティアとして活動したいという熱意を持っている方
- お互いを思いやる心を持ち、チームとして活動したい方
- オリンピック・パラリンピック競技に関する基本的な知識がある方
- スポーツボランティアをはじめとするボランティア経験がある方
- 英語、その他言語及び手話のスキルを活かしたい方

### 活動にあたりお渡しする物品等

- オリジナルデザインのユニフォーム一式(シャツ、ジャケット、パンツ、キャップ、シューズ、バッグ等)
  - 活動中の飲食
  - ボランティア活動向けの保険
  - 活動期間中における滞在先から会場までの交通費相当として一定程度
- ※オリエンテーション、研修及び活動期間中における滞在先までの交通費及び宿泊は、自己負担・自己手配となります。

## 応募からの流れ(ボランティアジャーニー)



## よくあるご質問

- Q** 活動内容や役割等はどのように決まるのですか。
- A** 応募にあたり希望した役割・活動場所等と実際の役割・活動場所等とのマッチングを行い、具体的な役割・活動場所をお知らせします。その内容を承諾していただいた場合に決定します。なお、マッチングが不成立の場合は、2019年9月頃にお知らせする予定です。
- Q** 英語が苦手なのですが、応募できますか。
- A** 語学力を必要としない活動内容も多くあるため、語学に自信がない方でも、積極的な応募をお待ちしています。外国語での挨拶や日常会話ができると、より楽しんで活動いただけるのではないかと考えています。
- Q** 障がいがありますが、応募できますか。
- A** 障がいの有無にかかわらず、より多くの方に応募いただきたいと考えています。オリエンテーションや研修・活動において配慮・サポートが必要な方は、応募登録の際にその旨を記載してください。

**応募方法** ウェブサイトからの応募となります。  
「東京2020公式ウェブサイト」の大会ボランティア特設サイトから、応募してください。

**お問い合わせ** TOKYO 2020 大会ボランティア運営事務局  
電話番号: ナビダイヤル 0570-08-2020 (IP電話・国際電話等の場合: 045-330-3036) ※平日9:00～17:45受付  
メールアドレス: [contact-center@volunteer.tokyo2020.jp](mailto:contact-center@volunteer.tokyo2020.jp)



18PEM0257000



9月中旬から  
募集開始!!

リオ2016大会で活動するボランティア

# 東京2020オリンピック・パラリンピック 大会ボランティア

オリンピック・パラリンピックの成功は、まさに『大会の顔』となるボランティアの皆さんの活躍にかかっています！  
「東京2020大会を成功させたい」という熱意をお持ちの方、またとない自国でのオリンピック・パラリンピックの運営に直接関わりたい方、みんなで一緒に東京2020大会を盛り上げていきたい方の応募をお待ちしております！

募集人数 **80,000人** 応募期間 **2018年9月中旬 - 12月上旬**

※競技会場までの観客の案内等を行う「都市ボランティア」については、東京都や競技会場が所在する自治体それぞれにおいて募集・運営されます。都市ボランティアを含む詳細な情報は、こちらをご覧ください。

<https://www.volapapo.tokyo/summary.html>





# 大会ボランティア 活動分野

大会ボランティアは、競技が行われる会場や選手の生活ベースとなる選手村、その他大会関連施設等で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポート等、大会運営に直接携わる活動を行います。

## 2 案内

会場内等で観客や大会関係者の案内、チケットチェックや荷物などのセキュリティチェックのサポートを行います。また、競技会場以外にも空港やホテルで、大会関係者が円滑に日本に入国・宿泊できるよう、案内を行います。



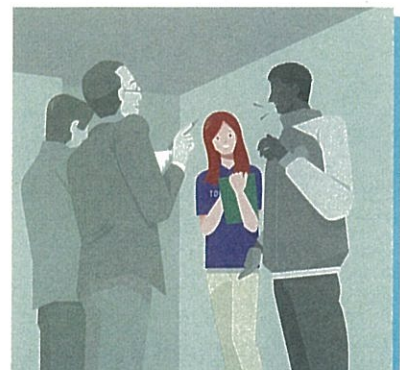
## 3 競技

競技会場や練習会場内で競技運営等のサポートを行います。競技に必要な備品の管理を手伝ったり、競技会場内で競技の運営そのものに関わるなど、場所や競技によって活動は多岐にわたります。



## 4 移動サポート(運転等)

大会関係者が会場間を移動する際に車を運転し、快適な移動となるようサポートをします。自動車の運転を行うために普通自動車運転免許が必要です。



## 5 アテンド

海外要人等が快適に日本で生活できるよう、空港や会場等様々な場所で接遇を行います。また、選手が快適な競技生活を送ることができるよう、外国語でのコミュニケーションサポート等を行います。これら以外にも競技を終えた選手がメディアからインタビューを受ける際に、外国語でのコミュニケーションサポート等もを行います。

## 1 指定なし

迷っている方におすすめ

どんな活動でもいいので  
ボランティアとして参加したい

どの活動か、あえて指定せずに応募することも可能です。希望活動分野を決めかねている方、どんな分野でもいいから活動してみたい方におすすめです。



## 6 運営サポート

競技会場、選手村、車両運行等の様々な運営サポートを行います。例えば、配付施設でのスタッフ(ボランティア等)のユニフォーム配付や、大会関係者が保有するIDの発行、スタッフが日々の活動を開始する際の「チェックイン」受付等を行います。その他、選手村やメディアセンターにおいて、物品を貸し出すなど、活動の内容や場所は多岐にわたります。

## 7 ヘルスケア

選手にけが人が出た場合、医務室への搬送サポートを行います。「ファーストレスポonder」は、応急手当セットを所持して2人1組で会場内を巡回します。また、ドーピング検査のサポートは、対象選手への告知、検査室への誘導や受付を行います。(検体採取は有資格者が行います)

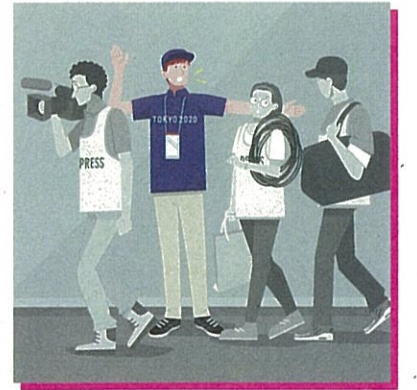


## 8 テクノロジー

大会関係者等に向けて、通信機器等の貸出しや回収等のサポートを行います。また、競技会場内の競技が行われている場所で、競技結果の入力や表示を行います。

## 9 メディア

国内外のメディアが円滑に取材できるよう、様々なサポートを行います。例えば、記者やフォトグラファーの取材の管理サポート等のほか、記者会見をスムーズに行うための準備・運営サポート等を行います。また、東京2020大会を記録するための記録用写真、動画の編集サポートや選手村の新聞制作のサポートを行います。



## 10 式典

各競技の表彰式において、選手や大会関係者の案内を行います。また、メダル・記念品の運搬等を含めた表彰式運営のサポートも行います。

※ 応募する際に、希望する活動分野を最大3つまで選択することができます。ただし、必ずしも希望どおりになるわけではありませんので、ご了承ください。

※ 活動分野は複数の活動が組み合わさった記述です。そのうち一部の活動を行います。



## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 大会ボランティア募集要項

### ■東京 2020 大会について

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）を、人々の心に深く残る歴史的な大会とするためには、オールジャパンで大会の盛り上げを図ることが重要です。

オリンピック・パラリンピックには世界中の国・地域から選手や大会関係者が参加するほか、多数の観客が日本を訪れます。さらに、テレビ中継及び配信等を通じて、世界中の人々に東京及び日本の魅力を伝える絶好の機会となります。

東京 2020 大会ビジョンの基本コンセプトの 1 つに「多様性と調和」があるように、東京 2020 大会では、多様な人々がお互いの違いを理解し、自然に受け入れ、互いに認め合い、誰もが生き生きと活躍できる環境を作る「ダイバーシティ & インクルージョン」の推進が重要であると考えています。

これらを実現するためには、年齢、性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、様々な方々に大会成功の担い手になっていただくことが必要不可欠です。

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）は、大会運営に携わる「大会ボランティア」を募集します。

オリンピック・パラリンピックの成功は、まさに大会の顔となる大会ボランティアの皆さんの活躍にかかっています。大会に関わる多くの人と一丸となって、「東京 2020 大会を成功させたい」という熱意をお持ちの方、またとない自国でのオリンピック・パラリンピックの運営に直接関わりたい方、みんなで一緒に東京 2020 大会を盛り上げていきたい方の応募をお待ちしております。

#### ◆ 大会名称

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

#### ◆ 開催日程

オリンピック競技大会：2020 年 7 月 24 日（金）～8 月 9 日（日）

パラリンピック競技大会：2020 年 8 月 25 日（火）～9 月 6 日（日）

### ■大会ボランティアとは

組織委員会が募集する「大会ボランティア」には、主に大会期間中及び大会期間前後に大会運営に直接携わり、大会の雰囲気醸成するメンバーの一員として大会を成功へと導く活躍が期待されます。

※ 東京都や競技会場が所在する自治体が募集する、国内外からの旅行者に対する観光・交通案内や競技会場の最寄駅周辺における観客への案内等を行う「都市ボランティア」とは異なります。

## ■募集人数

80,000 人

## ■活動期間

大会期間中及び大会期間前後において、オリンピック競技大会、パラリンピック競技大会いずれの場合もそれぞれ10日以上を基本とします。競技スケジュール、活動内容、活動場所等によっては、シフト等の都合により10日を下回る場合もあります。

※ 大会期間前は、2020年4月以降を想定しています。

※ 連続での活動は、5日以内を基本とします。

※ オリンピック競技大会、パラリンピック競技大会両方での活動を希望する場合は、それぞれ10日以上、合計20日以上を基本とします。

## ■活動時間

休憩・待機時間を含み、1日8時間程度

※ 競技スケジュール、活動内容、活動場所等により異なる場合があります。

※ その他食事時間があります。

## ■応募に当たって

次の2つに当てはまる方が応募可能です。

① 2002年4月1日以前に生まれた方

② 活動期間中において、日本国籍又は日本に滞在する在留資格を有する方

## ■積極的に応募していただきたい方

- ・ 東京2020大会の大会ボランティアとして活動したいという熱意を持っている方
- ・ お互いを思いやる心を持ち、チームとして活動したい方
- ・ オリンピック・パラリンピック競技に関する基本的な知識がある方
- ・ スポーツボランティアをはじめとするボランティア経験がある方
- ・ 英語、その他言語及び手話のスキルを活かしたい方

## ■応募期間

2018年9月中旬～12月上旬

※ 一部の役割によっては、再募集する場合があります。

## ■応募方法

ウェブでの応募となります。

公式ウェブサイト内のボランティアに関するページから、応募してください。

なお、本ウェブサイトはTokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインに準じ、アクセシビリティに配慮しています。

## ■応募単位

個人

## ■活動分野と人数の目安

- ・ 大会運営の準備状況等により変更となる可能性があります。
- ・ 以下の中から、1つの活動分野に決まります。
- ・ 応募する際に、希望する活動分野を最大3つまで選択することができます。ただし、必ずしも希望どおりになるわけではありませんので、御了承ください。

活動分野	主な役割・活動内容	人数目安（人）
指定しない	➤ どの役割・活動内容でもよい。	—
案内	➤ 会場内等で観客及びオリンピック・パラリンピック関係者の案内、チケットチェック、セキュリティチェックサポート等を行う。 ➤ オリンピック・パラリンピック関係者が円滑に日本に入国・宿泊できるよう、空港やホテルでの案内を行う。	16,000～25,000
競技	➤ 各競技及び練習会場内において、競技運営等のサポートを行う。	15,000～17,000
移動サポート (運転等)	➤ オリンピック・パラリンピック関係者が会場間を移動する際に車を運転し、快適な移動となるようサポートする。	10,000～14,000
アテンド	➤ 海外要人等が快適に日本で生活できるよう接遇を行う。 ➤ 空港や会場等において、海外要人の接遇を行う。 ➤ 選手団が選手村に入る前から準備を行い、選手が快適な競技生活を送ることができるよう、外国語でのコミュニケーションサポート等を行う。 ➤ 競技を終えた選手がメディアからインタビューを受ける際に、外国語でのコミュニケーションサポート等を行う。	8,000～12,000

運営サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 競技会場、選手村、車両運行等の運営サポートを行う。</li> <li>➤ ユニフォーム配付施設においてスタッフ（ボランティア等）のユニフォーム配付を行う。</li> <li>➤ ユニフォーム配付施設や、会場、空港等において、事前に登録された情報を基に、オリンピック・パラリンピック関係者が保有するIDを発行する。</li> <li>➤ スタッフが日々の活動を開始する際の「チェックイン」受付等を行う。</li> <li>➤ 選手村やメディアセンターにおいて、各国から来る選手団やメディア、その他関係者が利用する物品の貸出しを行う。</li> </ul>	8,000～10,000
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 観客やオリンピック・パラリンピック関係者等に急病人やけが人が出た場合に、「ファーストレスポnder」として速やかに対応する。</li> <li>➤ 選手にけが人が出た場合、医務室への搬送サポートを行う。</li> <li>➤ 競技を終えた選手に対して、ドーピング検査員が検査を実施する際のサポートを行う。</li> </ul>	4,000～6,000
テクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 通信機器等の貸出しや回収等のサポートを行う。</li> <li>➤ 競技会場内で競技結果の入力や表示を行う。</li> </ul>	2,000～4,000
メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 国内外のメディアが円滑に取材することができるよう、各種サポートを行う。</li> <li>➤ 記者やフォトグラファーの取材の管理サポート等のほか、記者会見をスムーズに行うための準備・運営サポートを行う。</li> <li>➤ 東京 2020 大会を記録するための記録用写真及び動画の編集サポートや選手村の新聞制作のサポートを行う。</li> </ul>	2,000～4,000
式典	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 各競技の表彰式において、選手やオリンピック・パラリンピック関係者の案内、メダル・記念品の運搬等を含めた表彰式運営のサポートを行う。</li> </ul>	1,000～2,000

#### ■活動内容・役割等が決まるまで

応募に当たり希望した役割・活動場所等と実際の役割・活動場所等とのマッチングを行い、具体的な役割・活動場所をお知らせします。その内容を承諾していただいた場合に決定します。



■今後のスケジュール

日 程	内 容
2018年7月下旬	募集キャンペーン開始
2018年9月中旬～12月上旬	応募登録
2019年1月～7月頃	期間中順次、オリエンテーション（説明会・面談等）のお知らせ受取
2019年2月～	オリエンテーション参加
2019年9月～	期間中順次、研修のお知らせ受取
2019年10月～	共通研修参加
2020年3月～	役割・会場のお知らせ受取
2020年4月～	役割別・リーダーシップ研修参加
2020年5月～	ユニフォーム等受取
2020年6月～	会場別研修参加

なお、応募に当たり希望した役割・活動場所等と実際の役割・活動場所等とのマッチングが不成立の場合は、2019年9月頃にお知らせする予定です。

【オリエンテーション】・・・1人当たり1回参加していただきます（2時間程度）。

オリンピック・パラリンピックの雰囲気を感じ、チームワークを高めていただくために、面談を含むオリエンテーションを実施します。

場所は応募時に選択し、オリエンテーションのお知らせの受取後、次の中から日時を選択していただきます。

場所 ※1	時期（予定）	備 考
都内	2019年2月～5月	毎週5日程度開催
都外 ※2	2019年4月～7月	1地区で2日程度開催
海外	2019年3月～7月	テレビ電話等を使用

※1 具体的な会場は、別途お知らせします。

※2 北海道・宮城・福島・茨城・富山・静岡・愛知・大阪・広島・福岡



【共通研修】・・・1人当たり1回参加していただきます（3～4時間程度）。

オリンピック・パラリンピックのボランティアに必要な基礎知識を習得していただくために、共通研修を実施します。

場所は応募時に選択し、研修のお知らせの受取後、次の中から日時を選択していただきます。

場所 ※1	時期（予定）	備考
都内	2019年10月～2020年2月	毎週5日程度開催
都外 ※2	2019年10月～2020年1月	1地区で2日程度開催
都内 （海外在住者）	2020年6月以降	詳細は未定

※1 具体的な会場は、別途お知らせします。

※2 北海道・宮城・福島・茨城・富山・静岡・愛知・大阪・広島・福岡

#### 【役割別研修・会場別研修】

役割別研修・・・2020年4月以降、参加していただきます。

具体的な場所・時期等は、別途お知らせします。

会場別研修・・・2020年6月以降、参加していただきます。

具体的な場所・時期等は、別途お知らせします。

#### 【リーダーシップ研修】

2020年4月以降、リーダー役候補者に参加していただきます。具体的な場所・時期等は、別途お知らせします。

#### ■活動に当たりお渡しする物品等

- ・ 「東京 2020 大会 大会ボランティア」オリジナルデザインのユニフォーム一式（シャツ、ジャケット、パンツ、キャップ、シューズ、バッグ等。アイテムによっては、複数枚を予定）
- ・ 活動中の飲食
- ・ ボランティア活動向けの保険
- ・ 活動期間中における滞在先から会場までの交通費相当として一定程度

※ オリエンテーション、研修及び活動期間中における滞在先までの交通費及び宿泊は、自己負担・自己手配となります。



## ■登録・取消

オリエンテーション及び研修に参加し、活動内容・役割等が決まった方は、「東京 2020 大会 大会ボランティア」として登録されます。

なお、次の場合には、登録を取り消すことがあります。

- ・ 本人の申出があった場合
- ・ 東京 2020 大会のイメージを損なう行為があった場合
- ・ チームワークを著しく害する行動があった場合
- ・ 大会関係者・観客への迷惑行為があった場合
- ・ 入力された事項について、事実と異なる内容が判明した場合等

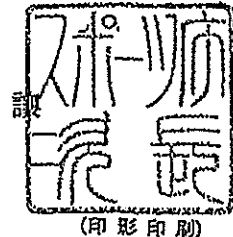




30ス庁第236号  
平成30年7月26日

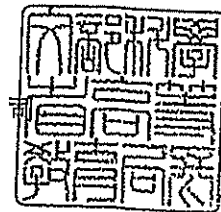
各国公私立大学長 殿  
各国公私立高等専門学校長

スポーツ庁次長  
今里



(印影印刷)

文部科学省高等教育局長  
義本博



(印影印刷)

平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法及び平成31年ラグビーワールドカップ大会特別措置法の一部を改正する法律による国民の祝日に関する法律の特例措置等を踏まえた対応について（通知）

平成30年7月20日付け30ス庁第235号で通知したとおり、「平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法及び平成31年ラグビーワールドカップ大会特別措置法の一部を改正する法律」が平成30年6月20日に公布されました。

この法律では、東京オリンピック競技大会の開会式前日等について、国内外要人や大会関係者の安全・円滑な輸送及び警備と経済活動や日常生活の両立を図るため、国民の祝日に関する法律の特例として、平成32年に限り、海の日を7月23日に、体育の日を7月24日に、山の日を8月10日にすることとしています。

ついては、平成32年度の学事暦の設定に当たっては、この法律の趣旨を踏まえて、各大学等において適切に対応いただくようお願いします。

また、平成28年4月21日付け28ス庁59号で通知したとおり、学生が、オリンピック・パラリンピック競技大会等に参加することは、競技力の向上のみならず、責任感などの高い倫理性とともに、忍耐力、決断力、適応力、行動力、協調性などの涵養の観点からも意義があるものと考えられます。さらに、学生が、大学等での学修成果等を生かしたボランティア活動を行うことは、将来の社会の担い手となる学生の社会への円滑な移行促進の観点から意義があるものと考えられます。この観点から、平成32年度の学事暦を変更する予定の大学もあるところです。

各大学等において、例えば、学生の同大会等への参加や同大会に係るボランティア活動への参加のため、学事暦の変更等を行う場合は、下記の諸点にも留意していただ



くようお願いします。

## 記

- 1 各大学の学則において、授業日や休業日の変更等についての手続きが予め規定されている場合には、平成32年度の学事暦について、例えば、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間中（平成32年7月24日～8月9日、8月25日～9月6日）に、授業・試験を行わないようにするため、授業開始日の繰上げや祝日授業の実施の特例措置を講ずることなどが可能であり、学則の変更や文部科学大臣への届出を要しないこと。
- 2 1の学則の規定に基づく特例措置によらず、学則の変更が必要となるような学事暦の変更により対応を行う場合には、次の諸点にも留意する必要があること。なお、(3)については、1の学則の規定に基づく特例措置による場合にも、留意する必要があること。
  - (1) 平成25年3月29日付け24文科高第962号で通知しているとおり、各授業科目の授業期間について、10週又は15週にわたる期間を単位として行うことを原則としつつ、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると思われる場合には、各大学及び短期大学における創意工夫により、より多様な授業期間の設定が可能となっていること。
  - (2) 10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要に加え、10週又は15週を期間として行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げることができると思われることが必要であること。
  - (3) 授業期間の弾力化は、単位の修得に必要な授業時間を変更するものでなく、我が国の大学の単位制度の国際的通用性の観点から、基準に適合するよう十分留意すること。
  - (4) 学期、授業を行わない日及び授業日時数については、学則に記載することとされていることから、学則の変更が必要となるような学事暦の変更を行う場合には、公私立大学にあつては、文部科学大臣への届出が必要となること。

### 【添付書類】

- 1 学生のオリンピック・パラリンピック競技大会及び同大会に係るボランティア活動等への参加に当たっての教育上の配慮について（通知）（平成28年4月21日付け28ス庁第59号）
- 2 大学設置基準及び短期大学設置基準の一部を改正する省令の施行等について（通知）（平成25年3月29日付け24文科高第962号）



**【本件連絡先】**

(オリパラ特措法・ラグビー特措法一部改正法関係)

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課

中平, 米山

電話 : 03-5253-4111 (内線 3494)

FAX : 03-6734-3955

(大学の学事暦等の取扱い関係)

文部科学省高等教育局大学振興課

塚田, 中村

電話 : 03-5253-4111 (内線 3338)

FAX : 03-6734-3387



# 東京オリンピック・パラリンピックのチケット価格について

## オリンピック

全体の半分以上が8,000円以下で購入可能

競技の一般チケット価格は2,500円～130,000円  
(例) 陸上;2,500円～130,000円 競泳;5,800円～108,000円  
体操;4,000円～72,000円 柔道;4,000円～54,000円

開閉会式の一般チケット価格は12,000円～300,000円

## パラリンピック

競技の一般チケット価格は900円～7,000円  
(例) 陸上;2,000円～6,500円 水泳;2,000円～7,000円  
車いすバスケットボール;2,400円～7,000円

開閉会式の一般チケット価格は8,000円～150,000円

## 2,020円 企画チケット

- ・子ども、ご年配の方、障がい者を含む家族やグループ向け
- ・オリパラ合わせて100万人以上の規模の「学校連携観戦プログラム」を含む ※パラリンピックは数百円～



## (参考) 大会時プログラム：学校連携観戦プログラム

- 「学校連携観戦プログラム」とは、自治体や学校単位でチケットを購入してもらい、次世代を担う若者に、より多く会場にきてもらうことを目的とした事業
- 「チケット戦略に関する有識者会議」のなかで幅広い支持のもと方針が示され、組織委員会理事会やIOC理事会でも正式に取り組むことが確認された。

項目	内容
企画内容	関係自治体・被災地などの小中高生を中心に、学校と連携した <b>100万人以上</b> の規模のオリンピック・パラリンピック観戦プログラム
対象者	東京都、その他会場所在地都道府県、被災地の小学校から高校および特別支援学校をはじめ、全国各地の児童・生徒



- 配券その他条件等の詳細は検討中